



©JFA/PR



VOL.43 2022.10.26

普及コーディネーター取り組み事例紹介①

静岡県

渡邊 亜紀さん

【中学校年代への取り組みについて】

静岡県は5地域に分け、各地域になでしこ普及コーディネーターを配置し、それぞれの地域に合った形で活動しています。6/12にはある地域の2校の女子サッカー部対象に、同地域の社会人チームのルクレMYFCさんがサッカー教室を実施し、中学生にとっては技術的な指導や経験ある選手達とのゲームなど、とても刺激になったようです。



©JFA

また他複数地域では、定期的にサッカースクールを実施し、小学生から中学年代につなげることももちろんながら、さらには高校年代へもつなげようという試みがされています。現在、中体連加盟女子選手については調査中ですが、今後も実態や各地域に合わせた取り組みをしていきたいと思えます。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

5/14に第2回東海ガールズゲーム大会が開催され、各県から参加希望チームを募り21チームで行われました。4種で運営開催をしていただいておりますが、「普及」という観点から今後どのようにガールズゲームを発展していくのか、関係者で検討していく事が大切でしょう。今後はより一層、小学生年代の女の子達がゲームを通して交流や成長、また中学生年代へのステップとなれるような大会になっていけると良いと思います。

【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

今年度のJFA女子サッカーデーは、県内の東部地域での開催予定ですが、日程や詳細については、現在コロナ感染状況を考慮し、年明けの実施に向け調整しています。その他の地域でもフェスティバルイベントとして地域毎にわけて実施しています。初めてサッカーと出会う女の子が自宅に近い場所で参加しやすい事と、その後も継続できる為にも情報発信や同地域チームへの練習参加などに繋がると良いなと思います。毎年、各地域の普及コーディネーターが中心となり女子サッカー関係者が協力し取り組んでおり、毎回多くの女の子達が参加してくれています。



【今後の目標】

昨年度はコロナ感染拡大により、フェスティバル事業の中止やオンラインへの変更を余儀なくされましたが、今年度は十分な感染対策を講じた上で、広いグラウンドの上で思い切りサッカーを楽しんで欲しいとの思いを持って、各地域や関係者を中心に計画をしています。各地域やクラブ単位での活動は、非常に活発に継続していただいているので、今後はそこに縦の繋がりや横の繋がりも育てながら、女の子がサッカーに出会い、そしてサッカーを通して多くの仲間に出会い、サッカーを継続し楽しめる環境を増やせるよう取り組んでいきたいと思います。



普及コーディネーター取り組み事例紹介②

愛知県

大畑 真樹さん

【中学校年代への取り組みについて】

愛知県では、2022年度に女子委員会内に普及部が発足し、普及活動の強化を進めています。

中学校年代への取り組みについては、2021年度に愛知県サッカー協会の普及部会にて、中学校部活内に所属する女子選手の有無について実態調査を実施しました。愛知県内では200名ほどの中学校部活所属の女子選手がいるという情報をもとに確認調査したところ、中学校体育連盟登録数322校中48校の回答があり、そのうち27校に男子選手と一緒に部活をしている女子選手が40名ほどいることがわかりました。その選手たちを集め中学生女子サッカーフェスティバルを予定しましたが、新型コロナウイルス感染の影響で開催ができず、2022年度に開催できるよう検討を進めております。

3種中学校体育連盟へのアプローチやアンケートの展開などに課題もあり、情報の伝達や知らせる手段の確立など今後検討が必要なこともわかりました。協会内の普及部会を通じて、種別を超えたつながりを強化できるよう進めて行きたいと思っております。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

愛知県では、4種にて運営を実施しておりますが、2022年1月に東海大会を愛知県で開催しました。チーム単位での参加となり愛知県からは13チーム、その中には男子チームに所属している選手も参加していました。また、普及を兼ねて女性審判員を起用し、空いた時間では東海4県の代表による普及ミーティングを開催するなど、有意義なフェスティバルとなりました。

今後は県内でも4種年代での未登録選手の発掘や男子チームで活動している女子選手が女子だけであるサッカーを楽しめる機会としてフェスティバルやガールズゲームを多く催していければと思っています。



【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

2020年度開催時は、年代別で募集をして試合形式でU12：105名、U15/18：119名、レディース：47名 総勢271名の参加で実施ができました。U15とU18での交流戦を実施し、レディースは8人制で楽しく試合を実施することができました。

新型コロナウイルスの影響で2021年度は中止となりましたが、午前と午後の部に分け、午前は未就学児～小学校6年生までとその保護者（ママさん）を対象に、午後は30歳以上の女性と60歳以上の男性を対象に交流戦とし、年代を超えてサッカーを楽しむ機会として開催を予定しておりました。



新型コロナウイルスの影響でなかなか実施に向けた活動ができず苦慮していますが、できる範囲でサッカーが楽しめる機会を、今年度発足した女子委員会の普及部と協力して取り組みたいと考えております。

【今後の目標】

愛知県では普及部会が発足し、順調に女子・キッズ・4種・シニアと種別を超えたつながりを持てるようになってきています。

女子委員会にも2022年度に普及部が発足し、女子普及について幅広く検討を進めることができるような環境になってきています。今後は普及のあり方を2種や3種、地域協会などと連携し、選手・指導者・審判のみならず、大会やフェスティバルに関わる運営関係者にも考えていただけるよう、垣根を超えた仲間づくりを地道に続けていきたいです。

また、情報の共有が課題としてあり、情報伝達経路を増やすことや伝達方法（ツール）の改善などをしていく必要があると考えています。現在、C級・D級の指導者講習会において、普及部会の部員が普及について伝えることを行っています。様々な機会や場所を使い、理解者を増やすと共に垣根を超えて協力していく仲間をつくっていきたくと考えております。



普及コーディネーター取り組み事例紹介③

三重県

小澤 亮二さん

＜テーマ：「コレクティブ」であること（”点”と”点”をつなげ、”曲線”を描き、”輪”を形成する活動）、「インクルーシブ」であること（垣根のない、ごく自然で当たり前の活動）＞

【中学校年代への取り組みについて】

「中学校年代への取り組み」として、三重県FAではその対象年代に向けた取り組みが、以下のように行われている。

- ①『Primer paso de MIE Nadeshiko』（プリメル・パソ・デ・三重なでしこ）普及活動
 - ・県内6地域（北勢・鈴鹿・中勢・伊賀・南勢・東紀州）での開催。（年間累計12回）
- ②イベントを通じた活動（「なでしこリーグ」チームとの連携）
 - ・JFAガールズフェスティバル（「伊賀FCくノ一三重」（なでしこリーグ1部）との連携）…12月開催予定
 - ・女性サッカーデーの活用（「ヴィアティン三重レディース」（なでしこリーグ2部）との連携）
…3月開催予定

③三重県 地区FAの取り組み

- ・鈴鹿市FA…「鈴鹿市女子Soccer Family 交流事業」
- ・四日市FA…「四日市女子サッカースクール」 など

【ガールズゲームへの取り組みについて】

○『Primer paso de MIE Nadeshiko』（プリメル・パソ・デ・三重なでしこ）普及活動

次のような中長期目標を掲げており、それに向けて、今年度（3月予定）に「ガールズゲーム」として開催を予定している。

①2年後（2023年度～）…県内各地域ごとにチーム等を結成し（仮）、年1～2回フェスティバル（ゲーム）形式で交流イベントを実施。→「ガールズゲーム」確立

②3年後（2024年度～）…本事業主催の大会を開催（他クラブ・チーム、他地域との交流）
→「ガールズゲーム」発展

○三重県女子サッカーの「普及」「育成」の拠点づくり

・女子の「普及」「育成」関連事業やイベントが、“定期的”かつ“継続的”に行われるよう、活動拠点の確立を図っていく。

→「ガールズゲーム3月開催」実現をきっかけにその取り組みを積み上げていく。



【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

○「なでしこ」との連携（ヴィアティン三重レディース（「なでしこリーグ2部」所属）との連携）

三重県には、「なでしこリーグ」に所属しているが2クラブ存在する。両クラブ、三重県女子サッカー普及活動への献身的なご協力を頂いており、それぞれ、以下の女子委員会事業の一役を担って頂いている。

・12月開催予定：「JFAレディースガールズサッカーフェスティバル2022 三重 in 鈴鹿」…伊賀FCくノ一三重（「なでしこリーグ1部」所属）

・3月開催予定：「JFA女子サッカーデー」…ヴィアティン三重レディース（「なでしこリーグ2部」所属）

なでしこリーグ（2部）所属の「ヴィアティン三重レディース」が中心となって同活動を運営。女子サッカーの認知拡大を図るとともに、女性が気軽に楽しむことのできるスポーツとしての認知拡大にも着目して、幅広い年齢層を対象としてイベントを企画している。

【今後の目標】

＜『「みんな”で”取り組む環境づくり」のさらなる継続』と『インクルーシブ』的モデルケースとしての取り組みへ＞

2030年の競技人口 2020年度比 約15%増、約900名を目指す（782名／2020年度）。また、全体男女比率を12%（6.1%／2020年度）、指導者数10%（4.2%／2020年度）を目指していく。

競技人口の増加は、「競技（スポーツ）として」、また「シーズンスポーツとして」、そして「生涯スポーツとして」の環境づくりを継続して積み重ねていくことが重要である。WEリーグを目指すクラブ、なでしこリーグに所属するクラブ、その参入を目指すクラブ、選手の育成を大切にしているクラブ、普及の重要性を切実に唱える指導者やサッカー関係者。三重県全体を見ると、どこをとってもそれぞれ「みんな”が”」努力し貢献していることが伺える。こうしたそれぞれの力を、日本の「サッカーファミリー」へとつなげていくために、まずはそれを「みんな”で”」取り組む環境にしていけることが、今後の継続した目標となることは言うまでもない。

それを実現するために、最も重要なのは「インクルーシブ」であること。多くの方々と出会い、交流をさせて頂く中でそれを強く感じ、各事業やイベントにおいてもその観点を取り入れた内容にも踏み込んでいく予定である。

三重県が、「女子”だけ”で、女子の環境を改善・向上・発展させていくのでは”ない”」モデルケースとなるよう、今後も取り組んでいきたい。



普及コーディネーター取り組み事例紹介④

岐阜県

今井 豊さん

【中学校年代への取り組みについて】

現在、女子委員会と検討中。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

ガールズゲームは東海サッカー協会4種において実施。

【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

女子委員会において検討中。

【今後の目標】

11月5日、6日に岐阜県ガールズフェスティバル（フットサルコートを利用し3対3を予定）実施予定。

5日U-12以下の少女対象、6日一般女子対象（経験者、未経験者含む）



2022プレナスなでしこリーグ1部

スフィーダ世田谷FC

なでしこリーグ1部は初
なでしこリーグ2部 優勝1回

優勝!!



©J.LEAGUE

■順位表（第22節（最終節）終了時）

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	S世田谷	50	22	16	2	4	45	16	29
2	伊賀FC	46	22	14	4	4	37	18	19
3	Aハリマ	43	22	13	4	5	46	23	23
4	C大阪堺	38	22	11	5	6	46	25	21
5	オルカ	36	22	11	3	8	26	20	6
6	名古屋	36	22	10	6	6	27	24	3
7	S日体大	29	22	9	2	11	19	28	-9
8	ニッパツ	27	22	7	6	9	24	26	-2
9	パニーズ	25	22	7	4	11	21	40	-19
10	スペ大阪	16	22	3	7	12	13	34	-21
11	愛媛L	13	22	2	7	13	18	32	-14
12	アンジュ	11	22	3	2	17	10	46	-36



2022プレナスなでしこリーグ2部

静岡SSUボニータ

なでしこリーグ2部は初
プレナスチャレンジリーグWEST 優勝1回

優勝!!



©J.LEAGUE

■順位表（第18節（最終節）終了時）

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	静岡	43	18	13	4	1	37	15	22
2	a c 福島	41	18	12	5	1	47	17	30
3	大和S	35	18	10	5	3	37	20	17
4	DR広島	27	18	7	6	5	24	18	6
5	福岡AN	18	18	4	6	8	13	22	-9
6	吉国大C	18	18	4	6	8	14	29	-15
7	NORD	16	18	3	7	8	16	28	-12
8	つくば	14	18	2	8	8	12	28	-16
9	V三重	13	18	2	7	9	14	21	-7
10	湯郷ベル	13	18	1	10	7	14	30	-16

2022プレナスなでしこリーグ1部・2部入替戦

*10月20日(木)に開催される第5回理事会にて決定される。

2022プレナスなでしこリーグ2部入替戦

節	開催日	対戦カード		K/O	都道府県	四文字略称	正式名称
1	11/5(土)	湯郷ベル	-	ヴィアマ	13:00	岡山	美作ラサ 岡山県美作ラグビー・サッカー場
	11/6(日)	山梨	-	D出雲	12:00	山梨	北麓陸上 富士北麓公園 陸上競技場
2	11/12(土)	山梨	-	ヴィアマ	13:00	山梨	北麓陸上 富士北麓公園 陸上競技場
	11/13(日)	D出雲	-	湯郷ベル	13:00	島根	出雲健康 出雲健康公園多目的運動場
3	11/20(日)	湯郷ベル	-	山梨	13:00		未定
		ヴィアマ	-	D出雲	13:00	宮崎	富田浜 富田浜公園

2022プレナスなでしこリーグ2部入替戦予選大会

- 1位 FCふじざくら山梨 (山梨)
 2位 ディオッサ出雲FC (D出雲)
 3位 ヴィアマテラス宮崎 (ヴィアマ)



2022プレナスなでしこリーグ2部入替戦へ
 出場決定

3位4位決定戦	09/25(日)	10:00		R湘南	0-3		ヴィアマ
1位2位決定戦	09/25(日)	13:00		山梨	1-0		D出雲

【Aグループ】

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	PK勝	PK負	負	得点	失点	得失点
1	 FCふじざくら山梨	8	3	2	1	0	0	4	0	+4
2	 SEISA OSAIA 湘南FC	6	3	1	1	1	0	7	1	+6
3	 エナジック琉球ディオス	4	3	1	0	1	1	2	3	-1
4	 北海道リラ・コンサドーレ	0	3	0	0	0	3	0	9	-9

【Bグループ】

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	PK勝	PK負	負	得点	失点	得失点
1	 ディオッサ出雲FC	8	3	2	1	0	0	4	2	+2
2	 ヴィアマテラス宮崎	7	3	2	0	1	0	9	4	+5
3	 FC今治レディース	2	3	0	1	0	2	3	5	-2
4	 レノファ山口FCレディース	1	3	0	0	1	2	1	6	-5

【続報】 なでしこリーグビジョン 《イメージビデオ制作》

サッカーと幸せになる。 なでしこリーグ

なでしこリーグ VISION

なでしこリーグには、
地域を愛し、
地域に愛される人がいる。

なでしこリーグは、
ひとりひとりのサッカーを叶え、
未来を切り拓く場所。

なでしこリーグとは、
サッカーと
幸せに生きること。

「なでしこリーグ」
[youtubeチャンネル](#)

↑こちらからご覧ください

check



日本女子サッカーリーグ（なでしこリーグ）は、2022年9月2日に発表したなでしこリーグビジョンとステートメントに関するイメージムービーを制作いたしました。

イメージムービーでは、試合映像だけでなく、オフ・ザ・ピッチの選手やなでしこリーグに関わる人々の姿を紹介、またなでしこリーグで活躍したOGにもご協力いただいています。

なでしこリーグでは、イメージムービーの公開だけでなく、ビジョン・ステートメントポスターの掲出などを通じてあらためてなでしこリーグの魅力を広く社会に認知していただけることを目指しています。



サッカーを愛する誰もが、



サッカーと共に生きられる世界をつくっていきます。

なでしこリーグHP コラム・Blog 連載更新！



伝統を引き継ぎ「なでしこ」の名に込められた選手の魅力を探ります。
様々な挑戦をしている選手たちにぜひ注目してください。

コラムのリンク先は[こちら](#)

⑪ 高橋 楓姫 (Aハリマ・MF)

「サッカーボールという地球儀を抱えてチャレンジを続ける」



⑫ 田谷 春海 (パニース・GK)

「1シーズンで味わった、どん底の10失点」



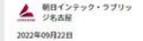
Blog 随時更新！

選手たち自らが撮影した写真や、地元のお気に入りポイントなど、選手が日常が垣間見ることができる！？

ブログのリンク先は
[こちら](#)

Blog

もっと見る

 おすすめ夜景スポット text by No.22 岡村 悠花 2022年10月13日	 覚悟 text by No. 小池 真理 2022年10月05日	 ファイナルズ優勝 text by No.8 濱野 穂乃香 2022年09月30日	
 やりがいと楽しさと心強さと text by No.23 松田 留光那 2022年09月29日	 幸せな瞬間 text by No.26 藤原 安佑 2022年09月28日	 ピンチはチャンス text by No.13 丸山 ちさと 2022年09月26日	 LOVEEDGE text by No.27 斎田 実希 2022年09月22日
 つばきFCレディース 2022年09月29日	 A Sハリママルビオン 2022年09月28日	 愛媛FCレディース 2022年09月26日	 新田インテック・ラブリン 2022年09月22日

【開催の様子をご紹介します】

◆Amista FC（北海道）9月4日（日）

9月に2回開催させていただきました。

活動内容としては、年中さんから、小学低学年の男女7人の参加でした。

アミスタFCでは、毎回テーマを設けて、なでしこひろばを開催しています。

今回のテーマは1回目は、「沢山走って、沢山ボールに触れる」をテーマに、コーンを使って、ジグザグ競走や、鬼ごっこ、サッカーテニスといった事を行いました。2回目はシュートや、ボールフィーリング、ドリブル、ラダー、ゲームを行いました。

アミスタFCのなでしこひろばの目的は、小さい子達に沢山ボールに触れてもらい、普段のあり余っている体力を使ってもらい、沢山の仲間「友達」を作ってもらう事が目的として掲げてます。

また、チームの女の子達が、なでしこひろばに参加してくれる子達に対して面倒を見てあげることでチームの団結が生まれる期待を持ちながら、運営しています。



◆一般社団法人佐賀県サッカー協会女子委員会（佐賀県）9月10日（土）、24日（土）

9月10日（土）、9月24日（土）にSAGAサンライズパークボールフィールドにて「JFAなでしこひろば in 佐賀県サッカー協会」を開催しました。

佐賀県サッカー協会女子委員会では、毎月2回4種県トレセンと、女子県トレセンと同日開催にしています。4種県トレセンと同日開催の日には、年長から小学6年生までの子どもたちを対象に募集しています。女子県トレセンと同日開催では、3歳から7歳までのサッカー未経験の子どもたちが集まってきています。



メニューは、鬼ごっこやボールを使ったドリブルリレーなど、競走しながら楽しめるものをたくさん取り入れて行いました。最後のミニゲームでは、スタッフやママさんも飛び入り参加してママさんチームVS子どもチームの対戦をも含め、大盛り上がりでした。

リピートしてくれている子どもたちや、友だちを誘ってくれたりして、参加者も増えています。これからも継続して「だれでもいつでもどこでもサッカーを」を目指していきます。



【なでしこひろばデータをまとめてみました】

都道府県別認定団体数及び2022年9月開催申請数

都道府県	団体数	開催申請数	都道府県	団体数	開催申請数
1 北海道	16	8	25 滋賀県	7	2
2 青森県	5		26 京都府	8	4
3 岩手県	5	7	27 大阪府	19	3
4 宮城県	11		28 兵庫県	10	
5 秋田県	3	1	29 奈良県	3	
6 山形県	2		30 和歌山県	3	
7 福島県	2		31 鳥取県	7	5
8 茨城県	9		32 島根県	1	
9 栃木県	16	2	33 岡山県	11	5
10 群馬県	5		34 広島県	10	
11 埼玉県	38	2	35 山口県	2	
12 千葉県	12		36 香川県	8	
13 東京都	63	12	37 徳島県	5	2
14 神奈川県	24	3	38 愛媛県	4	1
15 山梨県	6		39 高知県	2	
16 長野県	11	8	40 福岡県	13	
17 新潟県	7	2	41 佐賀県	6	2
18 富山県	4	2	42 長崎県	7	
19 石川県	6		43 熊本県	4	
20 福井県	5	2	44 大分県	5	
21 静岡県	13	4	45 宮崎県	3	
22 愛知県	22	3	46 鹿児島県	2	
23 三重県	10		47 沖縄県	8	1
24 岐阜県	5		合計	448	81

【2022年9月データ】

- ・ 全国登録団体数 : 448団体
- ・ 新規登録団体数 : 2団体
- ・ 認定団体数の全国トップ3
 - 1) 東京都 (63団体)
 - 2) 埼玉県 (38団体)
 - 3) 神奈川県 (24団体)
- ・ 全国開催申請数 : 81開催
(8月の開催申請数から22開催増)

10月も半ばを過ぎましたが、暑さがぶり返したり、急に冷え込んだりと、寒暖差の激しい日が続いています。人の行き来も活発になり、コロナの第8波も懸念されるところではありますが、残り少ない秋を満喫していただければと思います。少しご無沙汰している団体様も、ご無理のない範囲で、なでしこひろばの開催をご検討いただけましたら幸いです！

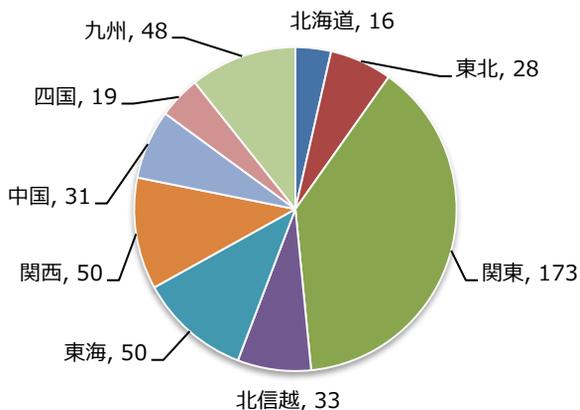
【事務局の受け付けが変更になっております】
2021年4月から、なでしこひろば事務局の受け付け・お問い合わせ方法をメールのみの対応とさせていただきます。

これまでの電話受け付けがなくなり4月1日以降はメールのみの対応とさせていただきます。各団体様にはご不便をおかけいたしますが、何とぞご了承のほど重ねてお願い申し上げます。

E-mail : info@nadeshikohiroba.jp
(今までのアドレスと変更ありません)

地域別認定団体数

北海道	16カ所
東北	28カ所
関東	173カ所
北信越	33カ所
東海	50カ所
関西	50カ所
中国	31カ所
四国	19カ所
九州	48カ所
【合計】	448カ所



<http://www.jfa.jp/nadeshikohiroba/>

※次回は2022年11月10日(木)ごろ配信予定です。お楽しみに！